

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	家電量販店（店長）	それ以外	・特別定額給付金と猛暑予報のため、良くなっている。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が減ってきたため、来街者は増えてきたようである。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言も解除されて、やや人の動きも多くなっている。それと同時に、10万円の定額給付金支給もあるからか、車を買いに來る人が少しずつ増えてきている感じがする。
	○	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染予防のため、マスク、アルコール、除菌シート、ビニール手袋、ハンドソープ等が伸長している。また、外出自粛に伴う自宅DIYや家庭菜園関連商材も伸長している。
	○	通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言を受け、営業を自粛していた。また、訪問サポートについても、客の依頼件数が大幅に減少している。営業面では、一部でテレワークや在宅学習用として、高速インターネット環境の希望をもらうが、受注件数は通常の3分の1以下の見通しである。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・皆が出かけることを自粛している状態で、生活必需品のみの買物をしている。地域の人との付き合いもできず、皆、ストレスがたまって苦しんでいる。
	□	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いているため、客単価の伸びが15～20%増のままで維持している。
	□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・生活用品、食品に関しては巣籠りの影響で、来客数は伸びているが、それ以外の休業要請が出ている事業については、緊急事態宣言が解除され、ようやく戻りつつあるものの、前年実績までは届かない。良い部分と悪い部分が相殺されている。
	□	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・レストランは休業している。宿泊も大幅に売上を落としている。もはや売上といえる数字でもない。競合ホテルでは、驚くような低価格で販売しているところもあるが、それでも予約が入らないらしい。
	□	通信会社（経営者）	販売量の動き	・景気低迷が続くなか新型コロナウイルスの影響で、更なる売上の低迷で落ち込んでいる。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・何と言ったらよいか、完全に皆が買い控えている。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店数が減っている。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月以降の各種宴会や会合、会食のキャンセルが続いている。
	▲	競輪場（職員）	販売量の動き	・全場で無観客レースを実施しているが、なかなか売上が伸びない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売買はもちろん、賃貸物件取引の動きも鈍い。全体的に状況は悪い。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・外出自粛要請により、商店街は人出のない状況で閑散としている。特に、高齢者の姿は見当たらない。また、売上の主力収入源である幼稚園、学校等の記念写真撮影が全てなくなり、前年同月比80%以上の売上減である。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・5月中旬以降、緊急事態宣言の解除を受け、食料品フロアのみ営業から全館の営業へと規模を拡大しているが、売上は前年比6～7割で推移しており、依然として厳しい状況である。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され通常営業へと戻したが、一部のテナント店舗は休業のままである。また、解除されても、客はすぐには戻らず、引き続き、不要不急な外出は控えていると、来店客数からも読み取れる。
×	百貨店（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言発令による営業体制の縮小で、売場の縮小や営業時間の短縮をしたため、悪くなっている。	
×	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。	
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・観光客がかなり減少している。また、朝の時間帯の作業員の来店数が減っている。	
×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が減り、売上も悪くなっている。	

×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて売上は1日当たり9万1315円マイナスで、同比83%となっている。来客数は130人マイナス、同比82%である。1か月の売上見込みがマイナス270万円で、光熱費、人件費は変わらないため、経費は縮小できず、利益は大きく割り込んで、赤字の予定である。緊急事態宣言解除後、日商、来客数共に少し戻りがみられる。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛などが続き、消費者の購買意欲が減って、実際の来客数も減っている。
×	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・前年は台風により当地域の秋の大きな祭りが中止となった。今年は新型コロナウイルスの影響で、また、秋の祭りが中止になる動きになっている。県内市町村の祭りが全て中止ということで、当店の売上は大打撃を受けている。
×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。いろいろと自粛解除等の動きもあるが、きちんとした安心理論というか、明確で具体的な表現がほとんどないので、当店顧客層の高齢者は自己防衛で来店が激減している。本当にゼロに近く、かなり厳しい。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数は微減だが、乗用車、貨物車共に少なく、軽貨物車が多いため、売上は20%強のダウンである。当地域の自動車メーカー及び関連産業の生産停止の影響をもろに受けている。車検入庫が前年比10%程度のダウンであることが救いである。
×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車販売だが、販売するにも客が来ない上、客のところにも行けない。新型コロナウイルス騒ぎで、お互いに人と人が会うのを嫌がる状況で、販売量が非常に落ちている。
×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・当社は何年も前から、観光地を控えた立地で商売をしている。当地近隣の温泉と名のつく旅館のほとんど全てが、休業要請で休んでいる。観光客も来なければ、地元客もほとんど家から出ない状態で、4～5月の車の注文は全くと言ってよいほど入っていない。ただ、なぜ経営ができるかという、車の故障、車検関係が順調に入ってきているお陰で、何とかやっているようなもので、最悪の状態で推移している。
×	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、高額商材の購入が後回しになっている。
×	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、現在は最悪の状態である。店は営業しているが、来客数が激減しており、固定費コストすら穴埋めできない。
×	その他専門店 [燃料]（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止対応の外出自粛で、使用量が減少しているため、大きなマイナスになっている。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月よりテイクアウトを始めて、自店のホームページ掲載やのぼり、商工会議所のホームページへの掲載等の後押し、テイクアウトの流行もあり、ゴールデンウィーク、母の日などのイベント期間は、予想を上回る売上があった。ただし、イベント期間以降はかなり落ち着いてきている。店内飲食は、自粛要請解除後も相変わらず数える程度である。来店客の中にはまだ「来店して申し訳ない」といった雰囲気がある。
×	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたものの、まだ、来客の動きがない。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上が伸びる可能性はあまりない。
×	その他飲食 [給食・レストラン]（総務）	販売量の動き	・公的な交流センター、スポーツセンター等施設の休業、大学、研修施設等では6～7月までの休業に伴い、施設内レストラン等の休業も続いている。公共施設内レストランで、営業再開したところもあるが、客足は極めて低調となっている。民間の社員食堂等も受託先の生産調整等により、食数減少が続き、全体の売上も減少が続いている。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの自粛要請や学校の休校宣言以降、軒並みキャンセルが殺到している。宴会は前年比99%減、宿泊、レストランについても同90%減、婚礼は全キャンセルとなっている。
×	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの稼働は、新型コロナウイルスの影響で、大きく低迷している。

	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行の宿泊プランでさえ売れておらず、船車券類はほぼ売れていない。
	×	旅行代理店（所長）	それ以外	・全国で緊急事態宣言が解除されたが、施設の営業再開も極めて限定的で、依然として、自治体をまたぐ移動も制限されている。日帰り旅行等の動きは見えつつあるものの、いまだ厳しい状況にある。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスにより休業日が多く、県をまたげないため、人の移動がない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響によるステイホームで、全然人の動きがない。電車等も乗っている人がいない。雇用調整をして稼働台数を3分の1にしても売上は上がらない。こんな状況は、この40年で初めてである。ちなみに月10日勤務で、売上は10万円以下である。
	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も人の動きが悪く、前年同月比64%の減少である。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・国の対策が最悪で、新型コロナウイルス騒ぎが全然収束しない。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受け、消費の減少もあるが、取引のある新築関連は、中国からの部材納期遅れから、契約、引渡数が減少している。
	×	通信会社（総務担当）	それ以外	・テレワークによる端末需要や料金プランの相談は増えているが、受付業務を制限しているため、来客数は大幅に減っている。
	×	テーマパーク（職員）	販売量の動き	・緊急事態宣言や休業要請などの理由から、長期にわたる臨時休園となり、過去最悪の状況である。
	×	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、企業のコンペが全て中止となり、一般個人客も外出自粛で、売上は激減している。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・日中の街なかの様子は悲惨である。もちろん、消費者の気持ちを想像すれば、経済より命が優先で、外出自粛となるので、誰も外を歩いていない。緊急事態宣言の解除があっても、私自身も外出を控える。まだまだ安心できない。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・ついに恐れていたことが現実になっている。同じ商店会会員のパチンコ屋、食堂、旅行社が相次いで、店をたたむことになった。マイナンバーによる特別定額給付金の混乱等、全てにおいて、ちぐはぐな緊急対策は、健全な小規模事業者にはさえ引導を渡す最悪の結果を招いている。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染の収束状況が報じられるなか、回復にどれぐらいの期間がかかるのか、先行きに対する不安が大きい。販売の回復は予測不能である。財布のひもは固く閉ざされる一方で、整備売上も下降をたどるのみである。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が出され、旅客、飲食を始めとしたサービス業の売上が急激に落ち込んでいる。
	×	設計事務所（所長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、同業者にはまだ大きな影響が出てきていない様子だが、他業種では大きな打撃を受けているようである。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社も50年この業界にいるが、これほど悪くなったのは本当に初めてである。賃料の値下げ交渉が、ますます激しくなっている。また、撤収、休業、廃業等も目に見えて増えてきている。撤収する店はかなり増え、事務所等でも、縮小、撤収等が増えてきた感じがする。本当に状況が悪く、家賃収入だけでも、30%以上ダウンしている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・落ち込んだ需要と企業マインドは依然として回復せず、受注も低調である。上向くことを期待して、活動を始めたところであり、低調さは変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今年度は何の影響も受けずに、決算を迎えられた。お陰様で決算手当も支給されている。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、新型コロナウイルスの影響はない。

□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス対策として、在宅勤務や巣籠り関連の物が多く、インターネット通販関係の輸送、特に、調理家電、運動器具、ガーデニング園芸用品等の物量が、前年比15%増の輸送量になっている。ただし、自動車関係の部品、車両等の輸送が落ち込んでいるため、全体的には前年並みの売上実績である。
□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在宅ワークや家飲み等で、入居中の部屋の設備不具合や、物件全体でごみの増加がみられ、仕事量は増加している。しかし、作業者と入居者が接触しないようにすることや、ごみの処分時にも新型コロナウイルスの感染予防に気を遣うため、作業効率が悪い。景気としては変わらない。
▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先が十数社あるが、全ての会社で受注や販売量等が極端に落ちており、非常に悪い状況である。
▲	司法書士	受注量や販売量の動き	・悪いに近い、やや悪いという感じである。大手の3次下請以下の中小企業が集中している小さな街なので、今後が心配である。今後、もっと悪くなっていくのではないかと。
▲	その他サービス [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いは増加しつつあるが、受注については、営業がテレワークで顧客訪問できないため、減少している。
×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力の賃貸業では、一部レストラン業者からは賃料50%ダウンを要請されている。関連事業の物販業の売上は、4月が15%、5月現在までで10%と共に減少している。
×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて5月の売上は3分の1で、6月の売上は5分の1の予定である。
×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は、前年同月比で売上は半減しており、自動車向けの量産ラインは、全面的に停止状態にある。
×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月までは2割ぐらい受注量が落ちていたが、5月になったら前年同月の半分くらいしかない。6月は、社員、パートに雇用調整助成金をもらって休んでもらわないとならない状況になりそうである。
×	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、自動車ディーラーが時短営業を実施している。積極的な営業活動ができない状況が続いている。これからも、感染拡大防止を優先するため、厳しい状況が続く見通しである。
×	建設業（開発担当）	それ以外	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移してきており、業界としては有り難いことである。ただし、今後のコロナショックや検事長の対応問題で、政権を問題視せざるを得ず、不安が生じている。公共工事は新年度を迎え、前年比258%増の発注があり、予算を早期に執行しているようである。異例の発注なので、現時点で判断することはできない。
×	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で医療機関や介護施設の定期清掃業務が中止になっている。その他の取引先も休業による定期保守業務の一部中止等、売上が減少している。従業員が使用するマスク、消毒液等の必要量や調達コストも増加しており、利益減少の要因になっている。
×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月比3割程度の売上となっている。自動車ディーラー、住宅販売会社等のイベントが中止状態のため、告知広告の発注がない。Webによる集客策を提案しているが、広告会社には、売上にすぐつながる商材が少ない。
×	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言下で、飲食店、商店、個人向けサービス業、商店街などの来客数、売上が減少したままで、経営上、深刻な状況になっている。サプライチェーンのなかで、個人消費に近い下請製造業等にも影響が出始めており、中小製造業も確実に受注が減っている。引き続き、新規開業、創業者等は経営の存続が危機的なまでに厳しくなっている。
×	社会保険労務士	取引先の様子	・営業時間の短縮や従業員を休業させていない事業所でも、話を聞くと多くの業種で売上が減少している。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—

(北関東)	□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・製造業全般で募集は全くみられない。販売関係では、かなりの人員削減、店舗閉鎖をしており、募集は全くみられなかった。一方で、今月は宅配等、配送関係や物流の人材募集が目立っている。
	□	学校〔専門学校〕 (副校長)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、緊急事態宣言が解除されたが、すぐに回復する感じがない。
	▲	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・現状、新型コロナウイルス問題で、会社関係が安定しておらず、下請も大変である。休業補償することが大変である。
	▲	職業安定所(職員)	求人数の動き	・タクシー業界、飲食業界の求人取消が増加している。
	×	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・言うまでもなく、新型コロナウイルスの影響で、周辺企業の全てで、景気が下向きになっている。
	×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・正社員、採用予定派遣共に、求人数が明らかに減少しており、いまだ改善の見通しが立っていない。
	×	人材派遣会社 (管理担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、生産計画が半減したため、悪くなっている。
	×	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛により、来客者数が減少している等の理由から、求人が減少している。特に、サービス業からの求人減少が著しい。また、新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明なことから、求人意欲が減少している。